

安来市重点施策に関する要望

安来市政の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り深く感謝申し上げます。

さて、わが国は、長年にわたり少子化が進んできたことにより、これまで経験したことのない本格的な人口減少社会に突入しました。

この人口減少社会において、地域の発展と持続性の向上に向けては、県と市の連携のもと、住民の満足度を高める取組を進めることが、より一層重要となってきます。

島根県の力添えをいただきながら、安来市が将来像として掲げる「人が集い 未来を拓く ものづくりと文化のまち」の実現に向け、社会基盤等の整備を進め、住民が豊かで安心できる持続可能な地域社会の構築を図ってまいりたいと考えております。

つきましては、本市の重点施策に関する要望事項を取りまとめましたので、事情をご賢察いただき、諸施策の実現に向けて特段のご配慮を頂きますようお願い申し上げます。

令和6年8月6日

安 来 市 長 田 中 武 夫

安来市議会議長 永 田 巳 好

目 次

【重点要望項目】

スマートインターチェンジ(関連道路含む)の早期事業化について・・・	1
切川バイパスをはじめとする県管理道路の改良促進について・・・	2
安来インター線の早期完工等について	・・・ 3
地域医療崩壊の危機を救う施策の早期実施について	・・・ 4

【要望項目】

原子力発電所周辺自治体の安全確保対策について	・・・ 5
小さな拠点を支える県道の整備促進について	・・・ 6
県管理河川の改修促進について	・・・ 7
広域観光及び外国人観光客誘致の推進について	・・・ 8



スマートインターチェンジ（関連道路含む）の 早期事業化について

安来道路に新たに設置するスマートインターチェンジは、物流・観光・救急・災害対応など、安来市を含む広域的に整備効果を発揮するものであり、現在、島根県をはじめ関係機関に協力をいただきながら、調査・検討を進めているところです。

つきましては、次について、格別のご配慮をいただきますよう要望します。



- (1) (仮称) 安来スマートインターチェンジの早期の「事業化」に向け、国への働きかけに対する支援をすること。
- (2) スマートインターチェンジに係る市道改良事業の新規事業化に向けての支援をすること。



切川バイパスをはじめとする県管理道路の改良促進について

安来市の産業振興を図る上で、大型車等の物流を支える交通基盤の整備・充実、そして原子力災害対策重点区域における広域避難体制の確立は喫緊の課題です。

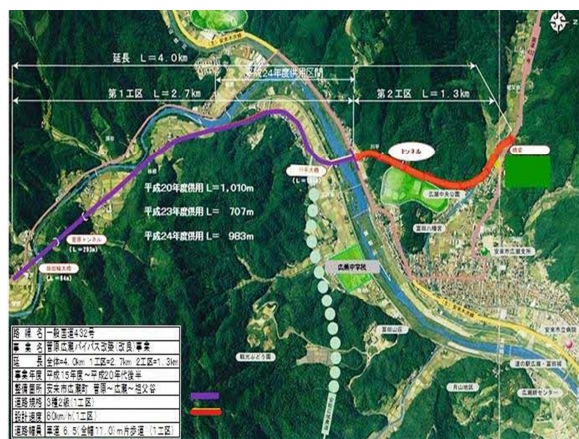
安全安心な住民の暮らしを支える主要道路の未改良区間の早期整備は最優先課題であり、次の事業のさらなる促進を要望します。



(1) (主) 安来木次線 切川2工区並びに (都) 飯島線



(2) 国道432号 菅原広瀬バイパス2工区



安来インター線の早期完工等について

安来インター線は安来 I C と国道 9 号の接続路線であり、現状の島田踏切通過を解消し、市東部中海沿岸部の工業団地を結ぶ安来市の交通ネットワークの重要路線です。

つきましては、次のとおり要望します。



(1) 安来インター線の早期完工

(2) 中海架橋建設連絡協議会（事務局：島根県土木部）の開催によるネットワークの現状把握



安来インター線の整備状況

地域医療崩壊の危機を救う施策の早期実施について

人口の減少・少子高齢化に伴う医療需要の変化に伴い、慢性的・複合的疾患を有する高齢者の患者が増加していくことから、救急体制の確保や医療資源の乏しい地域への医療提供体制の確保といった従来からの課題に加えて、家族や生活背景などの社会的要因も含めた総合的なケアの必要性が高まっています。

しかしながら、生産年齢人口の減少や医師の高齢化によって、安来市内においては必要な医師が確保できず、将来にわたって市民に安定して質の高い医療を提供し続けるための持続可能な体制が確保できていません。

つきましては、安来市のひっ迫する医師不足の状況をご賢察いただき、安来市の医療提供機能維持に向け、次のとおり要望します。

- (1) 高齢者に多い複合的な疾患への対応や在宅医療需要の高まり、救急医療対応など、幅広く総合的な医療に対応できる体制を整えるため、常勤の総合診療医の確保について支援すること。



- (2) 今後も増加が見込まれる高齢者に生じやすい傷病に対応するため、安来市全体で特に不足している常勤の整形外科医の確保について支援すること。
- (3) 安来市では市内の2病院間の医療機能について、役割分担と連携強化を進め、将来にわたって持続可能となる地域医療提供体制の構築を目指し、効率的な医療資源の活用ができるよう検討を進めている。引き続き島根県から積極的な助言、指導等の支援を行うこと。



原子力発電所周辺自治体の安全確保対策について

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所で発生した事故は、放射性物質の拡散によって重大な原子力災害をもたらし、国民の原子力発電に対する信頼を大きく損ないました。同様な事故が島根原子力発電所で発生した場合、周辺自治体である安来市も多大な原子力災害を被ることになるため、次の事項について強く要望します。

(1) 原子炉設置変更許可など重要な変更等が行われる場合に、周辺自治体の意見等を反映する新たな制度の構築について、引き続き国に強く要請すること。

(2) 広域避難計画について、複合災害時や感染症などへの対策、避難車両の確保や避難ルート多重化などの避難手段の確実な確保、住民への周知や理解促進など、「島根地域の緊急時対応」に基づく広域避難の実効性向上のため、引き続き防災訓練をはじめとする様々な取組を講じること。



(原子力防災訓練)

(3) 使用済み核燃料については、発生者責任の原則を基本としつつ、安全かつ的確な保管・処理及び処分が確実に行われるよう、高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定、再処理工場の稼働などの核燃料サイクル政策への対応を国が前面に立って着実に取り組むよう引き続き求めること。

(4) 能登半島地震を踏まえて、災害時に必要となるライフラインの充実・強化や備蓄拠点の整備等、複合災害対策に必要な経費について財政措置を講じるとともに、国に対しても財政措置を講じるよう強く求めること。

小さな拠点を支える県道の整備促進について

安来市の中山間地域では、地域ビジョンを作成し「小さな拠点づくり」を推進しており、令和2年度には島根県が実施しているモデル地区に「比田・東比田」地区が選定されました。

中山間地域で安心して暮らし続けるためには、他地域とのネットワーク網の整備や交通の安全確保が重要であり、道路整備の促進が必要不可欠です。

現在「小さな拠点づくり」事業に取り組んでいる地区の県道改良事業を早期に推進していただきますよう要望します。



(1) (主) 安来伯太日南線 六呂坂工区

(2) (一) 草野横田線 東比田工区

(3) (一) 本山伯太線 上小竹工区



(1) (主) 安来伯太日南線 六呂坂工区



(2) (一) 草野横田線 東比田工区



(3) (一) 本山伯太線 上小竹工区



県管理河川の改修促進について

安来市では、平成23年5月の豪雨および同年9月の台風12号の影響により、市内各所で河川が氾濫し、住宅の床上浸水、農地の冠水、そして一般県道・市道では冠水による通行止めが発生し、孤立した住民の救助活動等を展開しました。令和3年の7月災害等、近年では予測し得ない自然災害が多く発生している状況の中で、住民の安心安全を脅かす事態に対応するため県管理河川の早急な治水、自然災害被害軽減対策が必要と考えています。

つきましては次のとおり要望します。



- (1) 吉田川、木戸川、蛇喰川の改修促進をはじめ、住宅被害や通行止めを生じた田頼川、津田平川の早期事業化



田頼川の氾濫状況（令和3年）



津田平川の氾濫状況（令和3年）

- (2) 県管理河川の計画的な浚渫



広域観光及び外国人観光客誘致の推進について

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類へ移行されてから1年が経過し、コロナ禍の反動から観光需要が回復基調となっており、さらに2025年には大阪・関西万博が開催されインバウンドの広域周遊が見込まれるため、国内外の観光需要を取り込むため観光誘客対策が必要です。

また、県が実施するプロモーションに併せ、広域観光の推進及び観光客の周遊による消費拡大は重要な取組であることから、観光誘客対策として次のとおり要望します。



- (1) 日本遺産「出雲國たたら風土記」に関わる安来市、雲南市、奥出雲町を連動させた情報発信やツアー造成など、国内外における認知度向上を図ること。
- (2) F D A の就航先（名古屋・静岡）など新たなマーケットからの誘客及び、大阪・関西万博に来訪する外国人観光客の誘客促進を図るため関西圏でのプロモーション強化を図ること。
- (3) 外国人観光客の誘致策となる体験コンテンツの充実について、山陰インバウンド機構や中海・宍道湖・大山圏域観光局と一層の連携を図ること。



絛染めを体験する外国人観光客